

地方創生拠点整備交付金関係事業の実施結果(4年目)

事業評価

1. 非常に有効であった。
2. 有効であった。
3. 有効とは言えない。

計画 (PLAN)			実施 (DO)		評価 (CHECK)										改善 (ACTION)	
No	事業名	事業内容	実績額	実施結果	本事業におけるKPI・課題・主な事業費(単位:千円)							外部有識者からの評価		今後の取組		
			単位:円									事業評価	意見			
1	いわでもよいよい推進事業「ねごろ歴史の丘」観光拠点整備	道の駅に認定された「ねごろ歴史の丘」に新たな施設を建設し、不足している、団体利用が可能なトイレ、休憩施設、観光情報施設、物品販売所を設ける。完成後は、その新規観光拠点を活用するため、プロモーション活動を実施し、さらなる観光振興及び雇用の創出を図る。	R2 4,461,120	新型コロナウイルス感染症の影響により、観光プロモーション事業については各地のイベントが中止のため参加できず、旅行会社へのプロモーションも実施できなかった。また、施設及び隣接施設で予定していた観光イベントもほとんど実施することができなかった。 観光促進事業として、根来寺大門周辺の桜並木について、桜の植樹と伐採剪定を実施することで、観光地としての魅力を高め、誘客に取り組んだ。 新規観光拠点施設売上人数については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月29日から5月29日まで道の駅「ねごろ歴史の丘」を閉鎖したことにより、昨年度より減少となった。	本事業におけるKPI		事業開始前		H29	H30	R1	R2	増加分の累計	2. 有効であった。	コロナ禍で、施設が閉鎖、イベント等が中止し売上人数が前年度に比べ減少したが、累計で目標を達成できているのは、これまでの情報発信やプロモーション事業の効果が高かったことがうかがわれる。 令和2年度は、事業評価の最終年度となるが、今後もイベント、PR等の支援を行うとともに、岩出市内には多様な飲食店など魅力的な店舗が多いことから、道の駅「ねごろ歴史の丘」を起点とした観光動線を検討することで、地域経済への波及効果を高めていただきたい。	「いわでもよいよい推進事業ローカルブランディング計画」事業と連携し、根来のブランドイメージを確立して観光地としての知名度と魅力を高めるとともに、ウィズコロナ・アフターコロナに向け、感染症対策を行いながら、小規模グループや個人旅行者も対象とした誘客に取り組む必要がある。
					指標	新規観光拠点施設売上人数	0人	目標値	10,000	30,000	20,000	8,000	68,000人			
							実績値	10,505	30,703	33,800	28,749	103,757人				
					新規観光拠点施設における新規雇用者数	0人	目標値	3	1	1	1	6人				
							実績値	7	1	0	0	8人				
					課題		新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでのプロモーション効果もあり定着しつつあった観光バスによる団体客の獲得が困難となった。									
					主な事業費 (単位:千円)		観光プロモーション事業 (16千円) 観光イベント事業 (300千円) 観光促進事業 (4,145千円) ※地方創生拠点整備交付金を活用した観光拠点整備事業は平成29年度で終了。令和2年度は関連事業により更なる誘客や雇用の創出を図る。									